

第2章 周辺の景観資源調査

鈴鹿らしい景観の形成を考える際に留意すべき事項は地域によって異なるため、計画地の周辺に身近な自然的景観資源や歴史的・文化的景観資源等の特徴的なものがあれば把握しましょう。

景観デザインを考える上で、計画地の周辺の景観特性やこれらの身近な景観資源を活用することは非常に重要です。

そのため、計画地の周辺のまち歩き調査（半径150m～200mの範囲内）を行い、身近な景観資源を把握しましょう。例えば、以下のようなものがないか探してみましょう。

※景観資源の種類

景観資源の種類	具体的な内容（例）
自然的景観資源	<input type="checkbox"/> まとまった里山・樹林地 <input type="checkbox"/> 樹姿・樹勢の優れた樹木 <input type="checkbox"/> 一団の優良な農地（水田地・茶畑・サツキ畑など） <input type="checkbox"/> 見晴らしの良い場所 <input type="checkbox"/> 河川・水路・ため池等の水辺
歴史的・文化的景観資源	<input type="checkbox"/> 古くからの既存集落 <input type="checkbox"/> 古くからある建築物（民家） <input type="checkbox"/> 寺社・仏閣 <input type="checkbox"/> 古民家 <input type="checkbox"/> 歴史を感じさせる道標やほこら <input type="checkbox"/> 地域の祭り・伝統行事・イベント <input type="checkbox"/> 季節の風物詩
都市的景観資源	<input type="checkbox"/> 地区計画などによる計画的な住宅開発団地 <input type="checkbox"/> 商店街 <input type="checkbox"/> 大規模商業施設 <input type="checkbox"/> 大規模工業施設 <input type="checkbox"/> 公園緑地 <input type="checkbox"/> 街路樹 <input type="checkbox"/> 官公庁 <input type="checkbox"/> 文化施設 <input type="checkbox"/> 教育施設